

家族を亡くし、保険金を受け取ったことのある
日本の皆さんにお聞きしました^{※1}。

天国にいる家族に、受け取った保険金を
「有効に使えた」と報告できそうですか？

「できないと思う・わからない」

42.3%

保険金を、渡したい人に、渡したい金額を、
渡したいタイミングでお届けできるのが
生命保険信託です。

確かな想いを込めるためにライフプランナーがお手伝いします。

生命保険信託は、
プルデンシャル生命が2010年に
日本で初めて開発したサービスです^{※2}。

- 一度に多額のお金を渡すのではなく、分割して渡したい
 - 幼い子供や高齢の両親のために、お金の管理を助けてほしい
 - 学費や生活費は、子供の成長に合わせて渡す金額を変えたい
 - 定期的にお金を渡しつつ、緊急時にも必要なお金を渡したい
 - 誰にどのような順番でお金を渡すか決めておきたい
 - お金を渡す家族がいなくなったら、公益法人などに寄付したい
- といった想いを叶えることができる仕組みです。

生命保険信託



※1 調査概要 調査委託先 株式会社マクロミル
回答者 死亡保険金受取の経験者 男性718名、女性396名 合計1,114名(調査地域:全国、加入保険会社を問わずに調査)
調査期間 2018年12月19日~21日
調査手法 インターネット調査

※2 2019年12月プルデンシャル生命調べ

プルデンシャル信託株式会社 代理店 プルデンシャル生命保険株式会社(代理業務の種類:媒介)
記載の取扱は2019年12月現在の取扱によるもので、将来変更となることがあります。